

## 一生勉強、一生青春

－「練習、練習、また練習」で確かな学力を－

開倫塾

塾長 林 明夫

### 1. はじめに

- (1) 3か月という短い期間でしたが、受講生の皆様は本当によく勉強なさいました。皆様の勉強の態度は、真剣そのもので立派であったと高く評価いたします。
- (2) 教育担当の刑務官の先生方、開倫塾の先生方におかれましては、御熱心に教育カリキュラムを組み、また、毎回の御指導に当たって頂き有難うございました。感謝申し上げます。
- (3) この講座が開かれ最後まで順調に進んだのも、栃木刑務所所長の強いリーダーシップと御指導の賜と、心から敬服いたします。

### 2. 「一生勉強、一生青春」－勉強はこれから－

- (1) しかし、勉強はこれで終わりではありません。
- (2) 足利市在住の書家、相田みつを先生のことばに、「一生勉強、一生青春」ということばがあります。人生はこれからです。一生涯、死ぬ前の日まで勉強し続け、明るく、楽しく、元気に生きて参りましょう。
- (3) 「教育ある人」とはどんな人か。「一生勉強し続ける人である(ドラッカー先生)」と私は思います。「一生勉強し続ける人」という意味で、皆様には勉強し続けて頂きたいと希望いたします。

### 3. 「練習、練習、また練習」で確かな学力を

- (1) では、どのように「勉強」したらよいのでしょうか。
- (2) 私は一度、「うん、なるほど」とよく「理解」することが大切だと思います。人の話をよく聴いたり、本や新聞をじっくり読み込んで、まずは「うん、なるほど」と十分に「理解」して下さい。
- (2) 次に、一度「うん、なるほど」と「理解」したことを正確に身に付けるために、次の3つの「練習」を十分に行いましょう。
  - ① 大きな声を出して何回も読む「音読練習」
  - ② 正確に何回も書く「書き取り練習」
  - ③ 同じ計算や問題を繰り返し行う「書き取り練習」

\* 「練習、練習、また練習」だけが、一生使える「確かな学力」を皆様に「定着」させます。自分の運命を自分で切り開く「練習、練習、また練習」。自分の学力は自分の力で身に付けましょう。

#### 4. おわりに一幅広い「読書」を、新聞も毎日じっくり読もうー

- (1)少しの時間でもよいですから、「読書」を毎日続けましょう。同じ本を5～6回、繰り返しじっくりと読み込むことをお勧めします。
- (2)気に入ったことばがあつたら、ノートに「書き抜いておく」こと。「書き抜いたことば」を繰り返し読み、考えることも素晴らしいと思います。
- (3)世の中では何が起きているのかを知るために、新聞を毎日、一面からなめるように読むことも大切な勉強と思います。
- (4)健康第一。健康には2つあります。「身体の健康」と「心の健康」です。どうしたら「身体の健康」と「心の健康」を維持できるか。自分のこととしてお考え下さいね。  
\*周りにいる人の健康にも心を配り、心配したり、励ましてあげることも大切かと思います。
- (5)日本も、世界も、今どんどん変わっています。今まで3か月間熱心に勉強なされたことを生かし、御自分の人生を生き抜くため、また、人々のお役に立つことにより社会の発展に役立てるよう「一生勉強、一生青春」の考えで頑張ってください。

以上  
ー御清聴を感謝いたしますー

2008年4月25日記